



## Profile

### 西尾商店

西尾保紀さんは愛知県出身。2020年に新野町に地域おこし協力隊として赴任。活動を終えた後も新野町で暮らす。任期中は、普段は遍路宿、災害発生時には、要配慮者の避難所となるシームレス民泊の普及や防災活動、新野町への集客に向けたモニターツアーの受入れや、平等寺門前等での来客調査などに取り組む。



## 新野産ライムを全国へ 防災、お遍路、新野で紡ぐ暮らし

東日本大震災や熊本の震災の災害ボランティアも経験し、防災士の資格も持つ西尾保紀さん。「やらなかったことへの後悔はしたくない」という強い想いで、シームレス民泊の活動に取り組んできた。隣接する福井町から新野町までをつなぐ山道の開拓もそのひとつだ。100年前の古地図に載っていたという道で、南海トラフによる津波の浸水が想定される福井町から想定されない新野町まで避難する、命をつなぐ道。1年半かけて道を切り開き、2022年10月に広域避難訓練で実際に住民がその道を通った。これらの訓練では、住民主体の防災の大切さを実感したという。

もともと新規就農を目指し、新野町へ移住した。屋号の西尾商店は、尊敬する祖父の屋号を引き継いだものだ。祖父のように、自分が人に必要とされ何ができるか考えた時、かつてのバーテンダーの経験を活かし、カクテルを作る時に要となる新野産ライムを作ることにした。すでに生産に取り掛かっていて、2025年に初出荷できる予定だ。

お接待の心が残る、気候も人々もあたたかい新野町で「75歳まで現役で農業をしたい」という西尾さん。その時まで、妻と4羽のアヒルとともに、日々の暮らしを大切に紡いでいく。